

むらたまち

# 議会だより



思い出いっぱい作ろうね (村田町立村田幼稚園)

- 令和6年度当初予算 … 2
- 予算審査特別委員会 … 5
- 3月定例会議案審議 … 8
- ズバリ!町政を問う【一般質問 4人】 … 13
- 常任委員会リポート … 18 他

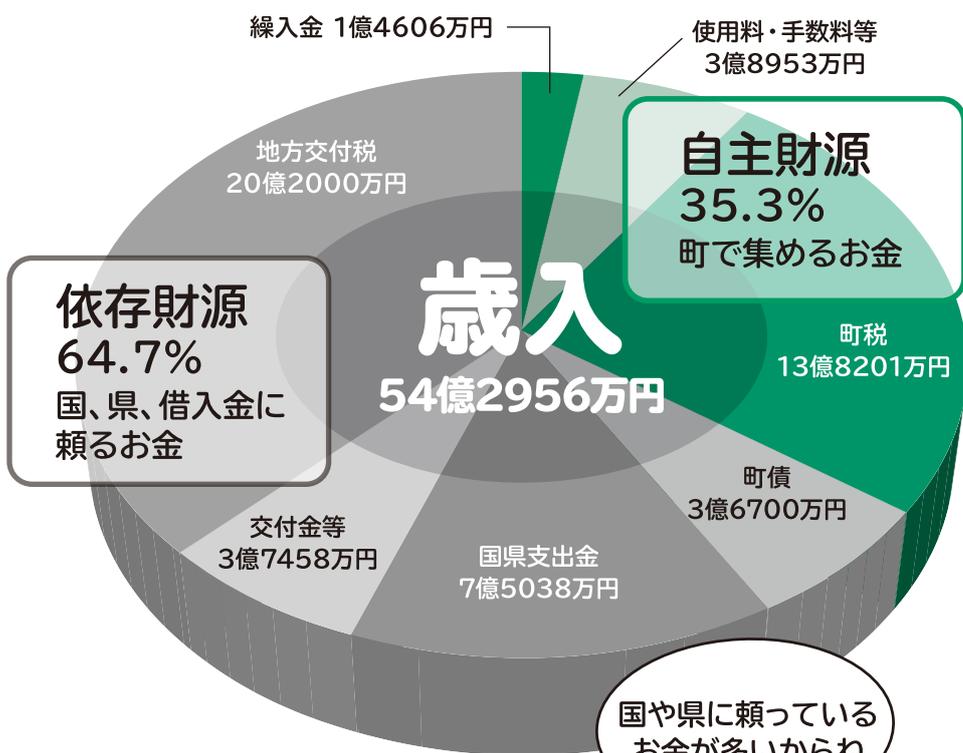
Vol.140  
2024.5.1.

# 大、子育て・教育環境の全化を加速

令和6年度各種会計予算案について、特別委員会を設置して予算審査を行い、一般会計及び、特別会計は採決の結果、全会一致で可決されました。その結果、特別会計と企業会計を含めた総額予算は94億8146万円となりました。

全会一致で

可決



国や県に頼っているお金が多いからね

ふるさと納税による歳入確保  
1億5000万円



これなら自主財源を増やせるね



ポイント

自主財源の比率が高いほど自主的な財政運営ができることとなります。村田町の自主財源確保に注目

## 財政健全化計画

令和7年度までに財政調整基金4億円以上積み立て目標。  
令和5年3月補正後見込み額7.2億円



# 令和6年度 予算

# 交流人口の拡 充実と財政健

総額94億8146万円(特別会計・企業会計含む)

## 一般会計54億2956万円

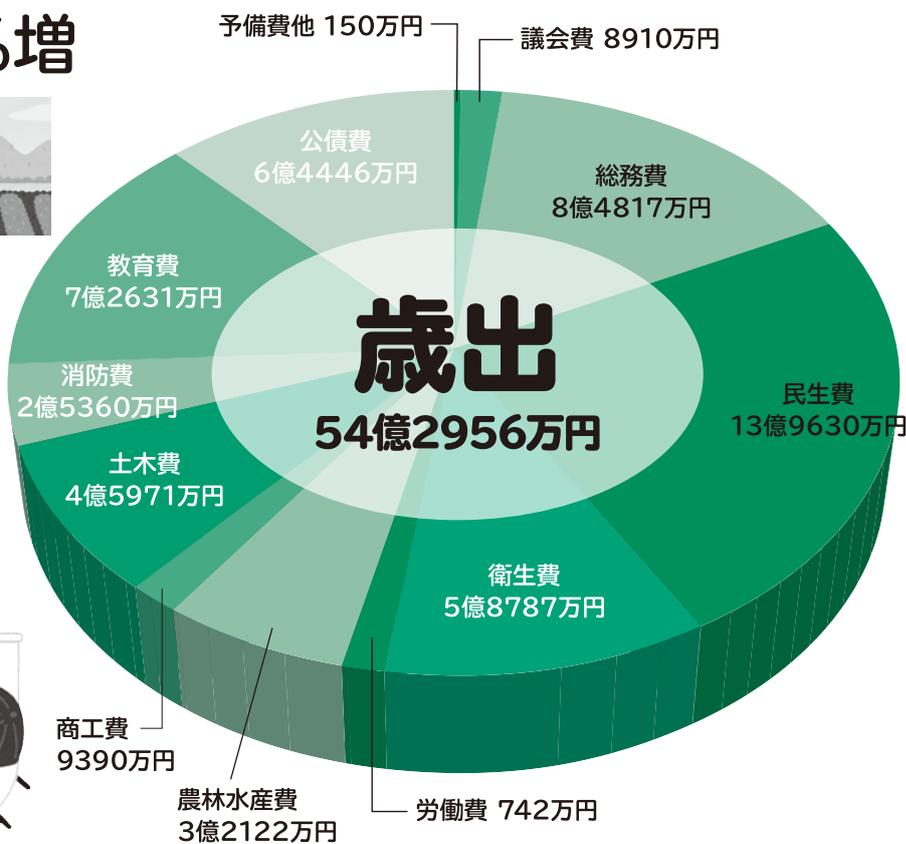
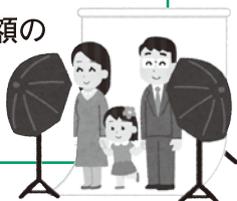
前年度比2.9%増



### 交流人口の拡大、 子育て・教育環境の 充実

- ・ふるさと納税返礼品等企業支援
- ・地域活性化企業人材派遣事業
- ・交流人口拡大事業
- ・村田保育所改修事業及び幼稚園活動の延長
- ・保育料利用者負担額の軽減

7856万円



### 令和6年度会計別当初予算

会計名		令和6年度	対前年度増減額
一般会計		54億2956万円	1億5603万円 増
特別会計	国民健康保険事業	13億8003万円	8315万円 増
	後期高齢者医療	1億5635万円	2103万円 増
	介護保険事業	13億2065万円	3115万円 増
	宅地造成事業	784万円	▲316万円 減
企業会計	上水道事業	5億6759万円	1462万円 増
	下水道事業	6億1245万円	▲6205万円 減
	工業用水道事業	699万円	▲487万円 減
合計		94億8146万円	2億3590万円 増



# 令和6年度一般会計予算

## 総括質疑

村田町の令和6年度、当初予算案の規模は54億2955万5千円と対前年度比で1億5601万7千円の増となり、率で3・0%増の予算規模となった。

歳出面では、町税や県支出金が増えたが、地方交付税や地方消費税交付金が減となった。

歳出面では、子育て・教育環境の充実や施設の耐震化・長寿命対策、交流人口の拡大策などに重点項目に据え、財政健全化を図りながら施策に取り組みとしている。

全般的、大局的な観点から総括質疑をする。

### 学校教育環境等の在り方の見直しについて

#### 質疑

小学校・中学校の配置計画の見直しは、保護者との統合に関する十分な意見交換を踏まえた合意形成が必須である。コロナ禍の影響で中断していた保護者や地域住民の意見交換会の再開と配置計画の公表時期などは、どう検討されているのか。

### 教育総務課長答弁

委員会での議論を踏まえ、6月中旬以降から地区説明会を開催し保護者や地区民の意見を伺い方針策定に反映させる考えだ。年内に町としての最終方針を決定する。

### 高田関場線の南進について

#### 質疑

本関場橋の通行障害の解消を図るべく高田関場線の事業に着手し、本関場前まで延伸した。先線の（南進）整備については、平成26年度以降進捗していない。高田関場線の先線について、どう取り組んで行くのか。

### 建設水道課長答弁

都市計画街路・沼辺足立幹線の認定線形を基本に、本線と関場線の交差点から南進し、荒川に橋梁を架設し沼辺・中原地区付近で巨理・大河南・川崎線の現道に接続する約1.120mを事業区間とし、令和6年度に本線道路の地質調査を進めると連絡を受けている。巨理・村田・蔵王線と「町道高田関場線の先線」の接続は県事業の進

捗状況を見極めながら早期事業化に向け検討協議していく。

### 企業誘致について

#### 質疑

本町の道路交通網の優位性で企業立地に関する問い合わせや相談が多数寄せられたが、立地に至っていない。地域振興策として地域の現状を分析し地域のグランドデザインを打ち出した上で企業誘致を行う必要がある。企業誘致活動をどう展開していくのか。

### まちづくり振興課長答弁

都市計画マスタープラン及び用途地域の見直しを行い、村田町の地の利を生かし利便性の良い高速交通網と土地活用で、企業誘致に寄与する計画となるよう見直し作業を進めている。

### 宮城オルレ村田コースについて

#### 質疑

宮城オルレ「村田コース」がオープンした。特徴は、高低差があり3分の2が山林のコースとなっており、歩道の

整備と歩行者の安全管理が課題と捉えている。この課題に対し、新年度はどう取り組んで行くのか。

### まちづくり振興課長答弁

コースオープン当時は、足下が悪い箇所、案内マークが見えにくい、分岐点を間違えたなどの意見を頂いていたので、これらの点を整備し、利用者の意見を聞きながら維持管理を行っていく。

### 村田診療所について

#### 質疑

みやぎ県南中核病院附属村田診療所の老朽化に伴う新築事業が決定し、令和6年3月4日に診療を開始した。村田診療所建設に伴うリース料償還の期間が20年に及ぶが、本町で負担する負担金は年額いくらになるのか。

### 健康福祉課長答弁

企業団規約で定められている、本町の負担割合は52%であるため、年間リース料1676万4千円で871万7千円となる。

令和6年度

# 予算審査特別委員会

令和6年度の各種会計予算審議にあたり本会議から予算審査特別委員会に、その審査が付託されました。その後、委員長に村上登議員を選出し3月6日から13日までの8日間にわたり慎重に審議し、予算関連の現地調査も実施しました。委員会採択の結果、いずれの予算も原案のとおり可決すべきものと決定されました。



審査結果を報告する村上登特別委員会委員長

## 質疑応答

総務費

(抜粋)

**問** ふるさと納税のポータルサイト委託先と業務内容についてはどのようになっているのか。

**答** 委託先は8社。業務内容は返礼品の配送管理、寄付受領証明書、ワンストップ特例申請の受付。



そら豆



人気の返礼品



とうもろこし みらい

民生費

**問** 民生委員の選任方法は。

**答** 地域や前任者からの推薦などをもとに町が推薦し、県の認定を経て厚生大臣から委嘱される。

**問** 結婚推進事業のイベントや委託先は。

**答** 具体的には決まっていない。20歳代から40歳代台と40歳代から60歳代までの2パターンの開催を考えている。また、話し方を学ぶようなサポートができるようなイベントも開催していきたい。

**問** 障害福祉の訪問系、通所系、住居系のサービスの形態についてはどうなっているのか。

**答** サービス給付費であり、通ってサービスを受ける場合と重度心身障害の時に受けられるサービスで学校や家庭での車椅子サービスなどがある。

**問** 保育所「こぼと園」の改修はどの箇所なのか。

**答** 保育所の屋根が傷んでおり今回はその屋根のみを改修する。



改修予定の村田保育所

**問** 令和6年度の子どもの出生の見通しは。

**答** 令和6年度は42人が予定されている。

衛生費

**問** 子宮頸がんワクチンHPVの男性接種について今後の流れと情報は。

**答** 男性接種の情報は現時点で町は確認していない。



**商工費**

**問** ハイキングコース整備委員料はオルレのコース整備を指しているのか。

**答** ハイキングコースの管理委託料で、主にオルレコースの整備等に当てる。



ウッドチップで舗装された山道のコース

**問** 農業振興地域の見直しはどうか。

**答** 農用地域の設定から30年が経過しており都市計画マスタープランの見直しと合わせて整備していきたい。

**問** 有害鳥獣対策の支援事業は。

**答** 鳥獣被害防止総合支援事業は県の事業として、電気柵やワイヤーメッシュの設置については地域で協議会の立ち上げを行い支援事業となれば補助が認められる。

**問** 菅生赤道堰の水門及び薄木金田地区の水路を含め6地区の水利施設の改修はどの時期にやるのか。

**答** 今回の農業施設の整備については田んぼの繁忙期が終わった後の9月10月以降の発注となる。



改修予定の菅生赤道堰

今後は、ICT専門職員派遣制度を活用し、充実を図る。



**問** 給食の無償化についての考えはあるのか。

**答** 今後、財政的な面もあり国県に要望していきたい。



提供されている学校給食

**農林水産業費**

**問** 米の生産調整について、農家への令和6年度の説明会は。

**答** 農家にあつては法人化や規模拡大がなされていて生産調整の説明会は必要と考えている。



イノシシ侵入防止柵

**教育費**

**問** GIGAスクール構想におけるプログラミング教育の進捗は。

**答** パソコンを使用し、小学校でのロボット操作、中学校でのホームページ作成授業が行われている。

**問** 地域での部活動指導のあり方の現状はどうか。

**答** 町としては、一応近隣の様子を見ながら、協議会の設立や、土日の部分に関して受入体制があるかどうかの調査を進めていく予定としている。

**土木費**

**問** 通学路の危険ブロック塀の改修はどこまで進んでいるのか。

**答** 各地域に未改修の危険ブロック塀があるので、改修を急ぎたい。

**問** 都市計画マスタープランの進捗状況は。

**答** 基礎調査は終了している。県及び仙南広域都市計画との調整もあり完了に時間を要している。

予算審査特別委員会最終日の3月13日に改修予定の村田保育所と耐震工事予定の沼辺地区公民館の現地視察調査を行いました。

改修予定の村田保育所



沼辺地区公民館 大ホール



沼辺地区公民館

## 令和6年度 予算審査特別委員会意見

本議会において、予算審査特別委員長より町執行部に対して、次の委員会意見を提出しました。

1. 本町の農業振興発展に向け、委託型地域おこし協力隊支援事業・次世代人材投資事業・経営発展支援事業の効果的な活用を図りながら、農業の担い手育成に取り組むこと。
2. 学校教育環境等のあり方の基本方針については、令和6年度末までの方針決定に向け、今後実施する地区説明会において、保護者や地域住民に対し情報の共有を図り、合意形成を得たうえで、再編のあり方を示すこと。
3. 小・中学校におけるプログラミング教育について、知識・技術の向上のため、さらなる充実を図ること。

# 予算を追加

令和6年第2回定例会は、3月5日から15日までの11日間にわたり開催されました。この定例会では条例の一部改正が13件、令和5年度補正予算5件、令和6年度各種会計9件、同意3件、諮問1件、報告3件が提案されました。また、一般質問は4人の議員が、町の考えや対応について質しました。

まちづくり振興課 総務管理費

まちづくり村田運営補助金 **200**万円

空き家・空き店舗の活用事業や観光案内所の運営、観光商品などの開発・販売などを行っている会社への補助金



財政課 総務管理費

減債基金積立金 **1671**万円

将来にわたる町財政の健全な運営を行うため、町債の償還に必要な財源を確保する目的で設置している基金の積立金

公共施設建設等基金積立金 **2976**万円

## 令和6年 第2回定例会議案

■議案第15号 令和5年度村田町一般会計補正予算（第9号）  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6363万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ60億8677万円としました。

■議案第28号 令和6年度村田町一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に1402万円を追加し、総額を54億4358万円としました。

## 質疑応答（抜粋）

**Q** まちづくり村田運営補助金の200万円の中身は。

**A** 個人からの意向で、会社運営の補助金に充てるように指定寄附を受けたものである。

**Q** 公共施設建設等基金には庁舎の建設費用も入っているのか。

**A** この基金は目的基金で使途が明確であり、町の道路や各種施設等に充てる財源である。役場庁舎は役場庁舎建設基金として積み立てている。

# 一般会計補正

令和5年度6363万円 令和6年度1402万円

町民生活課 戸籍住民基本台帳費

## 電算処理委託料

# 425万円

法改正によるシステムのメンテナンス費用

健康福祉課 社会福祉費

## 障害者福祉サービス給付費

# 708万円

日常生活及び社会生活を総合的に支援するための給付金

健康福祉課 保健衛生費

## 過年度新型コロナワクチン接種体制事業費補助金返還金

# 1561万円

ワクチン接種業務の返還金

建設水道課 都市計画費

## 都市計画街路小池石生線 県事業負担金

# 1716万円

村田町内の渋滞緩和、歩行者の安全性の向上を目的として、小池地区県道交差点から村田第一中学校前を經由し、宮城交通停留所前交差点までの区間の整備事業



小池石生線(村田一中前)

**A**

備品購入費は個人からの寄附を受けたもので、授業で活用するバッテリー、タブレットやワイヤレスアンプ、合唱祭で使用するひな壇などを購入する予定である。

**Q**

教育費、中学校費の備品購入費100万円の中身は。

返還金はワクチンを接種した予定の人数が減ったための実績精算分、負担金は実績不足分の過年度収入である。



ワクチン接種

**A**

歳出のコロナワクチン接種体制確保事業費補助金返還金の1561万円と歳入の国庫負担金1201万円の差異の中身は。

**Q**

1年間で予算を組んでいたが、7月から翌年3月までの期間で委託したために不用額が発生した。

**A**

農業振興費、委託型地域おこし協力隊支援業務委託料の不用額110万円の中身は。

**Q**

# 議案と採決結果

議案名	採決結果
条例（一部改正）	
■議案第2号 村田町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例 個人番号カードの取り扱いを追加することに伴い、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第3号 村田町監査委員条例の一部を改正する条例 法律の条項の変更に伴い、村田町監査委員条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第4号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 特別職の報酬額の変更に伴い、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第5号 村田町手数料徴収条例の一部を改正する条例 戸籍法の改正に伴い、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第6号 村田町介護保険条例の一部を改正する条例 介護保険料の改正に伴い、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第7号 村田町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 第9期介護保険事業計画策定に伴い、国の省令に準じ関係条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第8号 村田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 第9期介護保険事業計画策定に伴い、国の省令に準じ関係条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第9号 村田町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 第9期介護保険事業計画策定に伴い、国の省令に準じ関係条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第10号 村田町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 第9期介護保険事業計画策定に伴い、国の省令に準じ関係条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第11号 村田町再生可能エネルギー発電施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例 再生可能エネルギー発電施設設置の適用を受ける事業の改正に伴い、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第12号 村田町営住宅条例の一部を改正する条例 町営住宅入居者の資格の変更に伴い、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第13号 村田町水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する条例 地方自治法の改正に伴い、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第14号 村田町非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 団員の年額報酬の改正に伴い、条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
補正予算	
■議案第15号 令和5年度村田町一般会計補正予算（第9号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6363万円を追加するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第16号 令和5年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1880万円を追加するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第17号 令和5年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3114万円を追加するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第18号 令和5年度村田町上水道事業会計補正予算（第2号） 資本的収入の既決予定額に2596万円を補正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第19号 令和5年度村田町下水道事業会計補正予算（第2号） 資本的収入の既決予定額に1355万円を補正するもの	原案可決 賛成 11：反対 0

# 令和6年第2回 定例会の

議案名	採決結果
<b>令和6年度各種会計予算</b>	
<b>■議案第20号 令和6年度村田町一般会計予算</b> 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ54億2956万円と定める	<b>原案可決</b> 賛成11：反対0
<b>■議案第21号 令和6年度村田町国民健康保険事業特別会計予算</b> 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ13億8003万円と定める	<b>原案可決</b> 賛成11：反対0
<b>■議案第22号 令和6年度村田町後期高齢者医療特別会計予算</b> 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億5635万円と定める	<b>原案可決</b> 賛成11：反対0
<b>■議案第23号 令和6年度村田町介護保険事業特別会計予算</b> 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ13億2065万円と定める	<b>原案可決</b> 賛成11：反対0
<b>■議案第24号 令和6年度村田町宅地造成事業特別会計予算</b> 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ784万円と定める	<b>原案可決</b> 賛成11：反対0
<b>■議案第25号 令和6年度村田町上水道事業会計予算</b> 収益的収入の予定額は4億41万円、支出は4億36万円と定める	<b>原案可決</b> 賛成11：反対0
<b>■議案第26号 令和6年度村田町下水道事業会計予算</b> 収益的収入と支出の予定額は収入支出それぞれ3億2665万円と定める	<b>原案可決</b> 賛成11：反対0
<b>■議案第27号 令和6年度村田町工業用水道事業会計予算</b> 収益的収入と支出の予定額は収入支出それぞれ699万円と定める	<b>原案可決</b> 賛成11：反対0
<b>■議案第28号 令和6年度村田町一般会計補正予算（第1号）</b> 歳入歳出予算の総額に1402万円を追加し、総額を54億4358万円と定める	<b>原案可決</b> 賛成11：反対0
<b>同意</b>	
<b>■同意第1号 村田町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて</b> 任期満了に伴い、固定資産評価審査委員会委員に任命するために議会の同意を求めるもの 氏名 大槻 章（大字沼辺）	<b>同意</b> 賛成11：反対0
<b>■同意第2号 村田町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについて</b> 任期満了に伴い、固定資産評価審査委員会委員に任命するために議会の同意を求めるもの 氏名 山家富久子（大字村田）	<b>同意</b> 賛成11：反対0
<b>■同意第3号 村田町副町長の選任について</b> 副町長の選任について、地方自治法の規定により、議会の同意を求めるもの 氏名 後藤 寿信（仙台市泉区）	<b>同意</b> 賛成11：反対0
<b>諮問</b>	
<b>■諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について</b> 候補者の推薦について、人権擁護委員法に基づき、議会の意見を求めるもの 氏名 信楽 隆浩（大字村田）	<b>適任</b> 賛成11：反対0
<b>報告</b>	
<b>■報告第1号 損害額を定め和解することについての専決処分の報告について</b> 事故の概要 大和町総合体育館に駐車していた村田町所有の車両に加害者の車両が接触したもの 損害額 278,164円	—
<b>■報告第2号 損害賠償の額を定め和解することについての専決処分の報告について</b> 事故の概要 町道道路法面の枯れ木の倒木により、相手側所有のネットフェンスを損傷したもの（損害賠償額は総合保障保険から相手側に直接支払いし、実質的な支払いは発生していない） 損害賠償額 145,200円	—
<b>■報告第3号 令和6年度一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター事業計画について</b> 事業計画書と予算書を議会に報告するもの	—

# 令和6年第1回 村田町議会臨時会

## 一般会計補正予算(第8号) 5220万円追加

健康福祉課 社会福祉費

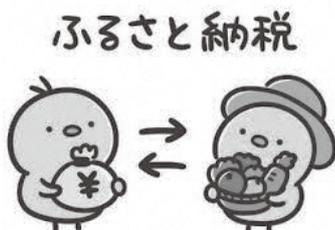
### 令和5年度物価高騰対策給付金事業 3350万円

エネルギー・食料品  
価格等の物価高騰の  
影響による家計への  
負担が大きい住民税  
非課税世帯と低所得  
者の子育て世帯に給  
付



まちづくり振興課 総務管理費

### 返礼品、 ふるさと納税 ポータルサイト 1800万円



議案第1号 令和5年度村田町一般会計補正  
予算(第8号)

令和6年第1回臨時議会が1月31日に開催され、歳入歳出  
予算の総額に歳入歳出それぞれ5220万円を追加し、歳入  
歳出予算総額をそれぞれ60億2314万円としました。追加  
案件は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金とふるさ  
と納税です。

第1回臨時会議案

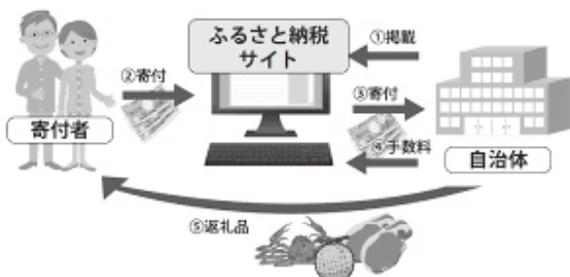
## 質疑応答 (抜粋)

Q

ふるさと納税のポータルサイト委託  
料の減、サイト使用料の増になった  
背景は。

A

委託料の減は総務省のふるさと納税  
の経費、仕組み等々の改正により、  
昨年の10月1日から無償になったた  
めに500万円の減となった。一方、  
使用料200万は8サイトの申し込  
み受付の使用料である。





- **高橋 勝 議員** (14ページ)
  1. 学校給食費無償化について
  2. 学校の教員の働き方について
  
- **山家 寛二 議員** (15ページ)
  1. 人口減少対策について
  
- **山家 大 議員** (16ページ)
  1. 公共交通空白地域を未然に防ぐための本町の対策について
  
- **菊地 睦夫 議員** (17ページ)
  1. 災害時における水の確保及び供給方法について

#### 一般質問とは？

一般質問とは、議員が町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

# 1 学校給食無償化について

## 2 教員の働き方について



たかはし まさる  
高橋 勝 議員

### 質問1

学校給食無償化は財政規模に関係なくいずれ全国、全校になることは確実と思われる。無償化した場合、財政負担はいくらになるのか。

### 教育長答弁

今後は、児童・生徒数の減少傾向、物価高騰を考慮して、年間4000万円程度になるものと試算している。

### 質問2

給食費無償化を今後実施する計画はあるのか。

### 教育長答弁

学校給食無償化は、各自自治体の判断で少子化及び子育て政策や、経済対策の一環として実施されている。本来平等であるべき行政サービスに、格差が生じている状況であり、早期に実現できるように町村会を通して国の要望を行っている。保護者の負担軽減として、物価高騰分の公費負担は継続する。



村田町学校給食センター

全国的に学校では教員のなり手が不足している。

### 質問1

小学校・中学校教員の定数は足りているのか。

### 教育長答弁

国が示している各学校の学級数に対する教員の定数は、それぞれ適正に配置されている。

### 質問2

教員の時間外勤務一人当たりの平均はどのくらいか。また、病気等休養を余儀なくされた時、代わりの教員の対応は。

### 教育長答弁

時間外勤務一人当たりの月平均、小学校では約30時間、中学校では約47時間。長期休暇の代替え教員の対応は、全国的な教員のなり手不足で人材確保が困難である。第二小学校では小規模校のため教員の加配がないため、校長や教頭が授業を受け持ち対応している。

### 質問3

授業には多くの準備が必要、持ち帰りの仕事は増えているか。

### 教育長答弁

持ち帰りの仕事の実態把握は難しいが、学校や個人差もある。以前と比較すると指導内容の増加、授業の準備、学年・学級日より発行、宿題づくり等、持ち帰りが増加しているのが現状と思われる。

### 質問4

教員一人当たりの授業数(持ちコマ数)は適当か。

### 教育長答弁

示された時数を上回っている授業を実施しているのは現状だが、一人当たりの授業数は適当と思っている。

### 質問5

独自に予算を計上して教員を採用すべきでは。

### 教育長答弁

以前は独自で採用し学校へ配置していた自治体もあるが、近年では実績がない。教員不足で人材確保は難しいと考える。



村田小学校



やんべ かんじ  
山家寛二議員

# 人口減少対策について

## 質問1

村田町の人口は、まもなく1万人を割込む状況下で人口減少を抑制するための政策、施策について、町はどのような考えをもつて対応していくのか。

## 町長答弁

町独自の施策として、定住促進事業補助金の継続、サンライズ石生第2期分譲販売の完売、人口減少対策は、国及び県と連携した施策や広域的で長期的な対策が必要と考えている。

## 追質問

都城市のような、手厚い支援策を参考に町の支援策の見直しを検討する考えはあるのか。

## まちづくり振興課長答弁

都城市の支援策は、一時的な支援策で、今年度については、支援金減額、居住年数も5年〜10年に延長された。町としてはこれまで

で通りの施策で対応していく。

## 追質問

人口減少を抑えるため今年度、結婚推進費イベント委託料が計上されているが、町内居住を条件に金銭的支援策を講じて行く必要があるのではないか。

## 町民生活課長答弁

過去の『むら婚』イベント開催で、何組かのカップルはあったが、成婚に至ったのは一組であった。



村田町主催のむら婚

## 追質問

企業誘致することにより、雇用者の定住、移住が期待されるが、町はどのような手法で人口減少を抑制するため、今後企業誘致をするのか。

## まちづくり振興課長答弁

町としては、農地の見直し、用途地域の見直し等、新たな土地利用を検討している。企業誘致できると働きかける。

## 追質問

サンライズ石生2期分譲地の2区画の早期完売に向けた支援策を検討すべきと思うが。

## 財政課長答弁

分譲区画については、事前にホームページ等で公表している中、現地を視察していただき、合致される方が購入されるものとみている。

## 追質問

全国各地で、人口減少問題に取組む自治体が多い中、本町に人口減少対策専門部署を設置し対応すべきと考えるがいかがか。

## まちづくり振興課長答弁

デジタル田園都市補助事業はまちづくり振興課が総括で、各自治体横のつながり、国からの情報を元に、取組みについて検討している。住民生活の環境、利便性を考慮し今後着実にデジタル田園補助事業に取組んで行く。



サンライズ石生分譲地

# 公共交通の充実 地域の生活を支える



やんべ だい 山家 大 議員

## Q 地域公共交通計画の策定を

### A 全体的な状況を見て検討する

質問

公共交通の空白地域をどう防ぐか。

町長答弁

路線バスと「くらりん号」を使用して、地域住民の移動手段を確保している。さらに、県南中核病院への通院に必要な場合は、タクシー利用の助成も行っている。

質問

公共交通の不足を補うために、ライドシェアの導入は考えられるか。

町長答弁

ライドシェアの導入には国の政策や地域住民、タクシー事業者との協力が必要。多くの課題があるため、慎重に検討する。

## 駅までの送迎 家族にとつての大きな負担

追質問

バスの便が少なく、高校生が鉄道駅までの通学に親の送迎を必要としているが。

まちづくり振興課長答弁

利用者が少ない場合、事業者は便数を減らさざるを得ない。町は利用者増加を目指して取り組む。

追質問

バスの利用促進として通学用の定期券購入に補助は考えられないか。

まちづくり振興課長答弁

今後の検討材料とする。

追質問

夜間の公共交通が不足していることは、医療や緊急サービスが必要とする住民にとって大きな問題では。

まちづくり振興課長答弁

症状によるが緊急車両を利用し、診療を受けることがよいと考える。

質問

長期的に公共交通サービスをどう提供するか。

町長答弁

公共交通の自治体による負担はコストが高くなるがちだが、社会の変化や利用者のニーズに合わせるため、新しい交通手段やICT技術の活用を検討する。



質問

公共交通政策に住民の意見をどのように反映しているか。

町長答弁

「くらりん号」に関してはアンケートを実施し、その結果を町地域交通会議で報告、改善策を検討している。路線バスについても、利用者の声を事業者に伝え、改善を求めている。



駅まで親の送迎(イメージ)



きくち むつお  
菊地 睦夫 議員

# 災害時における水の供給は

## 水供給の相互連携 協力協定締結

令和6年度の町長の施政方針の重点項目のひとつに「防災・減災対策」とあります。「元日に能登半島地震が発生するなど、改めて発生から13年を経過する東日本大震災の経験を振り返り、災害に強いまちづくりを進めるための防災・減災対策を講じる」とあり、2月13日に大河原町と本町とで「水道事業における安定的な水供給に関する協定」が締結されました。



相互連携協定

### 質問1

大河原町と「水道事業における安定的な水供給に向けた相互連携協力に関する協定」が締結された経緯は。

### 町長答弁

東日本大震災時に被災した教訓を踏まえ、災害時に水道施設が被災し、安定供給が難しくなった場合に備える必要がある。有事の際には「宮城県南中核病院」をはじめ、本町に所在する「村田透析クリニック」などの医療機関や避難所に指定している。「沼辺地区公民館」等への給水も可能となった。両町間で役割や運用のルールを明確にし、スムーズな通水を可能とするために締結するに至った。

### 質問2

災害時では、特にライフラインである水の供給をあらゆる方法で確保するべきと思うが。

### 町長答弁

東日本大震災以降、災害時における水供給リスク低減のため圧送式給水車の導入をはじめ、避難所に設置するキャンバス式水槽など資機材の充実を図るほか、施設面においても耐震性に優れた管の布設替えなどを年次計画で実施するなど、有事に備え手立てを講じてきた。

## 井戸水の活用の必要

今後、発生する災害の対策を考えていくことが「前々々の用心なり」の言葉通りです。特に水道管は平行に埋まっており道路が破損すれば必ず水道管が破損して断水になってしまいます。

災害時に井戸水が役に立った事例を聞いております。

### 追質問

災害時には民家の井戸を使用できるように、町は「災害時協力井戸」として考えていくべきだと思いが。

### 建設水道課長答弁

井戸はハード・ソフト面や近隣町村の協力体制もあり、災害時の水供給のリスク低減について施設面、体制面で備えを、本町に見合った施策のあり方、機会を捉えて適切に判断していきます。



# リポート

## 総務常任委員会

### ●調査結果

平成元年、村田町と英国バックリーに工場があった第一電工株式会社社長・沖国鎮氏の仲介により村田町とクルイド県アーリン&デーサイド地区・バックリー市との間に友好姉妹都市の調印がおこなわれました。

この締結により、同年8月から村田町の国際交流事業が始まり、村田町友好姉妹都市親善協会が設立され、国際交流事業の基盤が整備され現在に至っている。

これまでの事業は記念植樹や調印締結30周年を記念しての表敬訪問やホームステイ事業、ALTの受け入れが行われていたが、令和2年からの新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大した事により交流事業はとりやめとなっている。

現在は、英国ウエールズ内の自治体の機構改革によりバックリーのあるクルイド州はプリントシャー県となり事業を引き継いだシアタークルイドの担当者との国際交流事業についての諸協議

があることから事業再開には至っていない。

### ○委員会所見

国際交流を柱とした若者の参加する国際化事業は今後も大いに進めて行かなければならない事業です。

2国間の生活と文化のみならず大局的な国際感覚を養い世界に飛躍していく若い世代を育てて行かなければならないところがあります。

国際交流は相手国のこともあるところから、これからの協議を待たなければなりません、今後はホームステイに参加した方々も含め、これまで築き上げた国際交流をどのような形であっても引継いで行かなければならないと思います。

一日も早い国際交流の再開が望まれます。



## 産業建設常任委員会

### ■農業振興地域整備計画見直しについて

町が策定する農業振興地域整備計画は、宮城県が策定した農業振興地域整備基本方針に適合した調和が保たれたものであり、町内の農業振興地域において総合的に農業の振興を図るために必要な事項を一体的に定めるとされている。

平成3年6月に策定から32年が経過し、農地法の一部改正や自然的・経済的・社会的諸条件の変更を考慮し、農業再生基盤整備や農業近代化施設の整備等のほか、保全すべき農地について「農用地の確保」を図るとともに、必要な施策を計画的に推進するため、農業振興地域整備計画の再編見直し作業を行っている。

### 【令和6年度作業】

(農業振興地域整備計画書作成(本編)及び県協議の実施)

村田町の農業振興を図るため、自然的・経済的・社会的諸条件を考慮し、概ね10年を見通した長期的観点から計画の見直しを行う。

### ■みんなの森づくりプロジェクト推進事業

国の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を活用した宮城県の事業で、地域住民や森林所有者等が協力して行う里山林等の保全管理や資源活用等の活動に対して事業期間3年間の支援を行うもの。



### ○委員会所見

本町の農業振興地域整備計画の再編見直しは、極めて重要な作業と考える。特に、本町の基幹産業である農業の持続的発展を支える「農用地の確保」については、本町の今後の農業政策伸展の長期的展望から、確実な農業振興を進めていくよう願うものです。

## 農林振興行政について(2月6日実施)

# 常任委員会

## 国保、後期高齢者医療行政について(2月13日実施)

### 教育民生常任委員会

#### 国民健康保険事業特別会計

#### 医療制度改革

国民健康保険は平成30年度から県と共同で運営。また納付金算定に反映する市町村ごとの医療費水準を令和12年に統一。

#### 決算状況等

令和4年度の歳入は税収入が減少。被保険者数の減少が影響。歳出では保険給付費が減少。新型コロナウイルスによる受診控え等が要因。

#### 特定健康診査・保健指導

内臓脂肪症候群の減少を目指す。未受診者への電話催促や人間ドック対象年齢拡充、負担金減額等で受診率増加。

#### 後期高齢者医療特別会計

#### 経費

医療給付費(自己負担以外)は、保険料・公費・若い世代の支援でまかなわれている。

#### 自己負担割合

令和4年10月より一般所得者等(1割負担)のうち一定以上の所得のある方は医療費の窓口負担を2割とした。

#### 後期高齢者健康診査

受診者の個人負担金は無く、広域連合が負担。



#### ○委員会所見

医療費を抑えるため健診受診率の数値目標を設定し積極的なアプローチを。人間ドック対象拡大や電話促進は効果も出ており評価できる。後期高齢者医療制度では広域連合に対し保健事業の積極的な提案を。現在村田町の国民健康保険料は県内でも安い。県内統一となった際も安い保険料を維持できる方法を検討していきたい。

### 仙南・巨理地方 議長会主催議員 研修

講師  
総務省統計局  
統計高度利用特別研究室  
井上 卓

令和6年2月2日、蔵王町  
ございんホールで開催

総務省統計局では国勢調査を始めとする我が国の751の統計135万ファイルと約5千種類のデータが整備されています。

これらのデータを活用することは現代社会の現状や方向性を見極める時に大きな力となりますが、これまでは経済白書などで統計数値は確認できるもののグラフなどに加工しなければあまり役立つものではありませんでした。

そこで国は各官庁の統計データを一つにまとめた政府統計の総合窓口「e-Stat」で公表しインターネットで誰でも無料で利用できるようになっていきます。

令和4年度実績で年間約2億回のアクセスがあるとのことですのでみなさんも一度試して見てはいかがでしょうか、国や町の見方が変わります。

### 「村田町行政区長会 と村田町議会」との 意見交換会

令和6年3月27日(水)午後3時30分から「ウエディングパレスまるこう」で意見交換を行いました。



# わたしの思い

## 懐かしの駄菓子屋さん

伊藤 有紀子 さん(石生)



今年もわが町村田っ子も春を迎え、新入学や進級で心が躍ったり不安に悩まされたりこの頃かと思えます。そこで親、もしくはその上の世代の方はきつと鮮明に浮かぶであろう数十年前に私が中学生の頃の思い出の「コマのお話をさせて頂きたいと思えます。私が一中バスケット部の仲間といつものように、今と同様禁止されていた買の食いへ向かう。そこは二月田橋の袂の商店。幼い頃から沢山の駄菓子の目を輝かせそらばん塾の帰りにも百円を握りしめ通ったものだ。春は団子、夏はかき氷、冬はたい焼きとたこ焼きと、部活でお腹がすいた私達を優しく迎えてくれていました。私とある夏の日、いつものようにかき氷を注文し席に座りお喋りをしていると、店主のオンちゃんが会計をしに隣に座る。しかしオンちゃんは会計を提示しない！なぜか私達客に「なんぼや？」と聞いてくる。2000円のところ1500円と嘘をつく事など出来ない素直な中学生なのであった。後にそれが知る人ぞ知る歌となった受け継がれたのはもちろん有名な話です。オンちゃんには顔なじみの子供たちの傍で一緒にお菓子を食べていたのは珍しくなかった。そしてこの日はどうやらお店の大福を食べようとしていた。ちよつと嫌な予感でしたが、私たちは運ばれてきたかき氷をほおって、その時事件は起きた、なんと噛み切

うとした勢いで入れ歯が大福と一緒に飛び出たではないか！そこにいた私たちは言うまでもなく全員かき氷をドリフの様に噴出した。箸が転がっても笑つちやうお年頃の私たちがどうしても堪える事は出来なかつたのだ。きつと皆さんも、今は無きあの商店での温かい思いは上げればきりがありません。特に申に刺さつたたこ焼き、は町外の方にも大変人気があり、村田っ子の私は得意げに紹介してました。なぜ団子の様に串に刺さつて入っているのか？なぜ真ん中しか知らない私はそんな疑問を持つこともなく大人になりました。そんな面白いエピソードが数えきれないほどある楽しいこの町で温かな思い出を持つて育つたかつての子供達は本当に幸せだったと思えます。地域の大人と接することが多かつたせい、常に誰かに見守られていた気がしてました。昨今スマホやゲーム、SNSで完結するコミュニケーション、SNSで完結するコミュニケーション、大人がかたじけなく感じますが、今度は私達大人が、あのオバちゃんウザ！と言われても昔と変わらなかつた！と言われたい声や手を差し伸べながら、温かみのある明るい地域であつてほしいと思います。

## 議会事務局職員の異動がありました

4月1日付けで職員の異動がありました。今後ともよろしくお願いいたします。

- 【前】総括主査 おおぬま えいすけ 大沼 英介 (財政課総括主査 へ)
- 【新】総括主査 まつうら こ 松浦 なゆ子 (前 会計課総括主査)

## 次の定例会は6月11日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継にて配信しております。

村田町ホームページアドレス(下記)より <https://www.town.murata.miyagi.jp/> コンテンツ「議会」から「議会中継」へアクセスしてください。

本会議の日程については、町ホームページの「本会議開催予定表」で詳しくお知らせしています。

### 村田町議会公式Facebookはじめました

詳しくは議会事務局まで TEL 83-6410

## 編集後記

新年度予算が全会一致で可決されました。新年度予算では交流人口の拡大、子育て・教育環境の充実及び防災・減災対策を重視した予算となりました。特にふるさと納税返礼品等起業支援及び地域活性化企業人材派遣により、交流拡大を促進させるとともに、村田保育所改修、幼稚園活動の延長及び保育所・学校給食等の負担軽減により子育て・教育環境を充実させていきます。また、町民体育館・地区公民館の耐震化事業や冠水対策事業により防災・減災対策に努め、安心で安全な地域づくり予算となりました。

議会広報編集特別委員会 委員 大久保廣信

- 発行・編集責任者 議長 遠藤 実
- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 高橋 勝二
  - 副委員長 山家 寛
  - 委員 加藤 喜太郎
  - 委員 大久保 廣
  - 委員 山家 大宏
  - 委員 鈴木 正信
  - 委員 鈴木 夫
  - 委員 菊地 登
  - 委員 村上